

令和6年度第1回滝沢市上下水道事業経営審議会議事録

I 日 時 令和6年5月20日（月）13時30分～15時00分

II 場 所 滝沢市役所分庁舎 第6会議室

III 出席者 上下水道経営審議会委員 出席5名

【滝沢市上下水道事業経営審議会委員】

山田一裕委員、山口孝委員、齋藤誠司委員、小池倫子委員、八重樫節夫委員
（※欠席4名 荒屋貢委員、田村武委員、佐々木里美委員、菱田廣士委員）

【滝沢市】

滝沢市長 武田哲

経営課 課長 村上斉、総括主査 高橋竜也、主査 佐藤克也

施設課 課長 長谷川唯倫、総括主査 林野和恵、副主幹 高橋利昌

IV 次 第

1 開会

2 挨拶

市長挨拶、委員及び事務局の紹介

3 議事

会長及び副会長互選

4 議事録署名人の指名

会長より、議事録署名人に山口孝委員及び小池倫子委員を指名した。

5 報告事項

(1) 令和6年度組織機構の改編について事務局から説明を行った。

【経営課長】今年度、上下水道部において、組織改編を大幅に行った。昨年度までは、水道総務課、水道整備課及び下水道課の3課から構成されていたが、下水道課を整理統合し、今年度は経営課と施設課の2課となり、経営課において水道事業及び下水道事業の経営部分を一括で行い、施設課において上水道及び下水道の施設整備を行う課として、経営の効率化、技術関係の継承等を図る目的として組織改編を行った。

(2) 以下のア～ウの報告事項について事務局から一括して説明し、これに対し質疑応

答があった。

ア 第3次滝沢市水道事業ビジョンについて

イ 滝沢市下水道事業経営戦略について

ウ 滝沢市水道水源保護審議会について

【八重樫委員】NHKのクローズアップ現代で自治体の上下水道の状況の放送があり、人口減と給排水管の老朽化に伴い、財政的にピンチということであったが、説明を受けてよく分かった。以前北上市職員と話す機会があったが、人口減と給排水の老朽化によりピンチだと伺ったことがあり、水道事業の難しさを今感じた。今後、出来るだけ経営に力を注ぎ、よろしくお願ひしたいと思う。

【山田会長】水道事業ビジョンの資料の中で、令和3年度の市民向けのアンケート調査の結果が出ており、水道事業に対する満足度が年々向上してきていることから、実施されている内容が評価されているものと認識している。

一方、地下水率が上がっており、20年程前と比べると、河川水の水源から地下水の水源への移行時期であったのかと思われ、結果的に良質な地下水によって、水道水の水質が守られているということに効いてきているのかなと思う。

そこで、最近、地下水の水質を脅かす有害な化学物質の問題が新聞等で取り沙汰されている。PFOA（ピーフォア）PFOS（ピーフォス）等の有機フッ素化合物である。国際的にも、モニタリングが重視されてきており、地下水に頼っている自治体であるからこそ、水質の安全性については、日常的な検査項目ではないが、何か質問に答えられるほどの検査くらいを今後、計画をいただけたらありがたいなと思う。

【長谷川課長】有機フッ素化合物について、昨年度の途中から地下水についても調査をし、計測はされなかったところである。今年度の水質検査計画にも位置付け、計測や適宜モニタリングを継続していく体制をとっている。

計測された場合は、浄水方法を検討するということになると思うが、今のところ計測はされておらず、岩手県全体でも河川において計測されていないと県の方から情報をいただいております、周辺等の情報収集も合わせて努めていきたい。

【山田会長】報道等で話題になったことと思うので、問い合わせ等に対して安全性について広報いただけたらと思う。

【長谷川課長】1点補足があり、水道水源保護審議会というところで、先ほど説明した河川水から地下水に移行しているなかで、水道水源保護区域等の指定の図面の真ん中あたりの諸葛川水源（河川水）について、昨年12月をもって取水を停止している。

今後この区域の見直しと対策について、今年度中に審議を行っていかうと検討しており、その際は、経営審議会に合わせて水道水源保護審議会を開催したく、よろしくお願ひしたい。

【山田会長】水道水源保護審議会の開催そのものは、久しく開催されていない状況だと思うが、審議事項があれば上下水道事業経営審議会と合わせて開催されるもの

と理解してよろしいか。

【長谷川課長】はい。

(3) 今年度の事業について、「令和6年度上下水道事業の概要」及び「滝沢市上水道給水開始50周年事業」資料に基づき説明し、これに対し質疑応答があった。

【山田会長】上水道給水開始50周年事業について、事務局側で検討、計画されているかと思うが、何か市民の方々が参加できるようなイベント、例えばペットボトルのラベルのデザインを公募するであるとか、市民参加型の進め方について予定されているものはあるか。

【長谷川課長】ペットボトルのラベルのデザインについては、ある程度市側の発信したいものが限定されていることから、デザイン会社と進めていこうと検討しているが、市で商工会等と連携して開催している、滝祭において、パネルを展示し、その中で市民が参加できるような何か取組はしていきたいと具体的ではないが広報会議メンバーで検討は進めている。

【山田会長】この上下水道事業については、市民の方々の支えがあつての事業だと思うので、日ごろからの活動に対する理解もそうだが、是非、親近感をもつていただいて理解が促進できるような場にさせていただけたらと思う。

【八重樫委員】給水スポット設置についていいことだと思う。ロックガーデンの利用もあることから、水道水や自動販売機もあるが、このようなかたちで新鮮な水を提供していただけたらよいと思う。

(4) その他

【齋藤委員】今後の審議会についての意見であるが、この審議会のスタイルというのは、今まで何かしら計画や事業の報告を受けて、審議会にて意見を付して回答するというもので、定例的にやってきており、その中で昨年度の審議会の委員の中からこういうのをやって欲しかったという意見があつたと思うので、去年出せられた意見をまとめ、現委員の皆さんからの聞きたい内容を整理して、スケジュールを狂わせてまでということではないが、どこかで質疑応答のような時間を設ければ、理解が広まるのではないかと考えている。

計画は専門用語が多く、なかなか分かりづらいところもあり、ざっくばらんにお話してもらえる時間を設けてもらえればいいのかと思う。

【山田会長】是非、事務局サイドで、審議会の一部を少し時間として勉強会にするなど情報の共有の場を作るというのもあるのかと思うので、是非、適宜、委員の方の要望に沿ったかたちでの審議会でのあり方について検討いただけたらと思う。

過去に、経営について外部の専門の方を招いて勉強会を開催したこともあつた。委員の中に学識経験者やそれぞれの役職についている方もいるが、それでもやはり経営、水道事業、下水道事業のそれぞれスペシャリストの方々が議論されてい

る場でもあるので、改めて平易な言葉でその内容について理解が進むような機会を作っていただけたらありがたい。

6 閉会

経営課長より挨拶。

この議事録は書記の記載したものであるがその内容が正確であることを証するためにここに署名する。


令和 6 年 7 月 12 日

滝沢市上下水道事業経営審議会

会 長

山 田 一 裕 

署名委員

山 口 孝 

署名委員

小 池 倫 子 